

神奈川県GAPチェックシートの利用について

- 1 本シートは、平成 22 年 3 月に策定された「神奈川県 指導者向けGAP推進マニュアル」（平成 23 年 8 月改定）のGAPチェックシート作成のための項目一覧をもとに、農林水産省が策定した「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」の内容に準拠するよう項目を補足した農業者向けチェックシートです。
- 2 日頃行っている食品安全、環境保全、労働安全、人権、農業経営管理等に関する取組について、自己点検する際に活用してください。また、GAPの実践は、単にチェックシートで点検項目を確認するだけでなく、農場利用計画・点検項目の作成（Plan）から、記録・実践（Do）、点検（Check）、見直し（Action）の作業を、繰り返し実行することが重要です。
- 3 本シートは、そのまま産地GAPのチェックシートとして活用したり、作目や産地の状況に合わせて項目を選択し、産地GAPのチェックシートの素材として利用してください。
- 4 区分は、農薬、肥料、種苗、環境、土壌及び水、衛生管理及び異物混入、作業者の安全、情報の記録及び保管、より良い農業のための事項に分け、それぞれについて更に項目ごとに区分しています。
- 5 点検項目は 127 番までありますが、対象となる作目によっては、点検が不要な項目もあります。また、野菜、果樹、水稲、麦、茶以外の作物は、農林水産省の「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」を参考にしてください。
- 6 ガイドラインの欄に○印が標記されている項目は、農林水産省の「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」の項目で、ガイドライン準拠には必須となります。